

2026 年度における賦課金の額について(改定)

2026 年 2 月 17 日
北海道生コンクリート工業組合
北海道生コンクリート協同組合連合会

現在の賦課金の額 23 円/m³は、2024 年度の想定出荷量 **3,088 千m³**を前提に決定されたものです。

これに対し 2025 年度の出荷量は大きく減少することが見込まれます。仮に、**2,950 千m³**(▲138 千m³)だとすると賦課金収入は **318 万円減**となりますが、事業内容の見直しや人件費の削減により 2025 年度の損益はプラスを維持できる見通しです。

しかし、2026 年度の想定出荷量は **2,592 千m³**と 2024 年度想定から大きく乖離(▲496 千m³)、賦課金収入は **1,141 万円減**(23 円/m³×496 千m³)となります。さらに、全生連は、2026 年度通常総会(6 月)において賦課金を工組連、協組連合わせて **3 円/m³(最大)**値上げする見通しで、値上げ分 **778 万円**(3 円/m³×2,592 千m³)を新たに負担する必要があります。賦課金収入減と全生連賦課金値上げ負担分を合算すると不足額は **1,919 万円**(1,141 万円+778 万円)となります。

不足額は事業内容の見直しや人件費の削減により圧縮可能ですが 600 万円が限界と考えられ、この場合、不足額は **1,319 万円**(1,919 万円-600 万円)となります。これを補うため、2026 年度通常総会において、賦課金の額として **28 円/m³**(5 円/m³値上げ)を提案することとします。

<出荷量減に伴う賦課金収入減少分> ▲496 千m³ 2024FY 想定※ 2026FY 想定 23 円/m³ × (3,088 千m³ - 2,592 千m³) 1,141 万円 ※現在の賦課金の前提となる出荷量	+	<全生連賦課金増加分> 最大 2026FY 想定 増分 3.0 円/m³ × 2,592 千m³ 778 万円	-	事業見直し&人件費削減 600 万円
必要となる原資 1,319 万円 賦課金 ≒ 5 円/m³ (5.1 円/m³)に相当				

6
第3号議案 2025年度における賦課金の額及び賦課金の徴収方法(案)について

<北海道生コンクリート工業組合>

<北海道生コンクリート協同組合連合会>

6
2025年度の賦課金の額は次の方式により徴収する。

1. 賦課金 **28**

①出荷割: 出荷数量1m³につき**23**円とする。

但し、協同組合に加入している組合員は**14**円

②均等割: 組合員1工場につき年10,000円とする。
但し、協同組合に加入している組合員は5,000円

2. 徴収方法

①当月分を翌月末までに納入する。
但し、年度途中における**賦課金の減額は、理事会の承認を得てこれを行うことができるものとする。**

②均等割については、同年6月末までに納入する。

以 上

6
2025年度の賦課金の額は次の方式により徴収する。

1. 賦課金 **28**

①出荷割: 出荷数量1m³につき**23**円とする。

但し、工業組合に加入している組合員は**14**円

②均等割: 組合員1工場につき年10,000円とする。
但し、工業組合に加入している組合員は5,000円

2. 徴収方法

①当月分を翌月末までに納入する。
但し、年度途中における**賦課金の減額は、理事会の承認を得てこれを行うことができるものとする。**

②均等割については、同年6月末までに納入する。

以 上